

県議会を聴いてきたよ!

絵本作家の森野さかなが



西山さんの勇姿を取材するのだ!

さかなちゃん久しぶりだね!

◎西山議員の質問項目◎

- ・耐震強度偽装問題
- ・新年度予算編成
- ・政策評価
- ・教育と政治の在り方
- ・ノーマライゼーション教育
- ・県立高校中退問題
- ・読書活動
- ・障害者雇用
- ・目立たぬ公共事業
- ・アルコール依存症対策
- ・動物と共生する社会
- ・地元問題

質問したい事は、たくさんあるのです!

だから早口なの? 書き取るのが大変!



平成17年12月8日の県議会において、われらが西山議員が一般質問をしました。みなさんの分まで耳をダンボにして森野さかなが傍聴してきました!



↑ 広江ちゃん

↑ さかな

よく晴れた木曜日。西山議員の一般質問を、天も応援しているのか? というほ



私たちの他にも、数名の傍聴者が来ていた。全員に挨拶をする広江夫人。実に丁寧。偉いなあ。



ウォームビズの20度ってなんか寒い

埼玉県の県立高校中退率は全国ワースト2位。毎年三七〇〇人もいる。その理由の六割が「高校に行く意味が見出せない」。また、定員割れした高校は入試で0点でも落ちない。結局、入学しても続かず、一年でやめてしまう。そこで...

中学校段階の対策は? 「定員割れなら入試で落とすな」という県教育局の方針を見直すべき。

教育長の答え

入学許可は校長が行う原則を確認し、有識者や現場の声を聞いて、定員割れ入試の在り方を検討する。

中高連携して進路指導に頑張る。

質問 動物と共生する社会について



県の動物指導センターで毎年処分される犬は約四〇〇頭、猫が約四四〇〇匹。無責任な飼育放棄、虐待、糞公害、飼主のいない猫をめぐるトラブルなど動物行政を預かる県の課題は多い。そこで...

質問 アルコール依存症について



県内のアルコール依存症患者は一説では十四万人。一方、県が把握している患者は千四百人。膨大な潜在的依存症者がいる。依存症克服は「断酒会」などの自助グループとの連携がなければ実質的には無理。県は

保健医療部長の答え

東京都に学んで、ネットの里親探しや収容期間延長、団体への成犬・猫の譲渡なども検討していく。

福祉部長の答え

朝の読書活動をさらに進め、偉大な文学作品に親しむ本格的な読書活動を学校教育の柱として導入しては?

教育長の答え

モデル校での実施を念頭に検討していく。



議会終了後、控え室に西

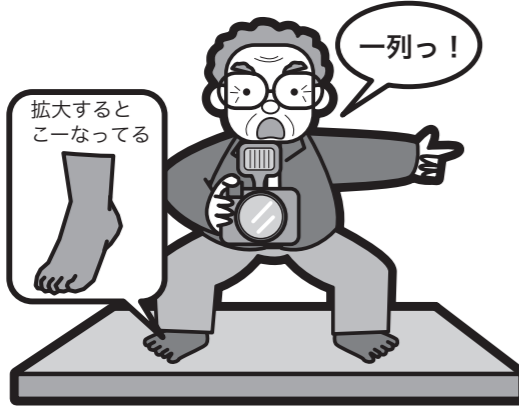
質問 県立高校の中退問題について



二年前、西山さんが「障害のある子どもの居住地交流を」と提案したことが、ノーマライゼーション教育として実を結んでいるんだね!



ようになった。他人をいたわる心や支えあう心が自然にはぐくまれるようになった。モデル市の支援方法を事例集として配布する。推進役となる教員の人材育成。送迎や学習補助のためのボランティアを育成していく。



議会後も仕事がたくさんある議員を介して帰路へ。さかなと広江ちゃんはパフェを食べてから帰りました。